



KAGUYA 晶 (深飴葉) / 吹きガラス、溶着
h53×w33×d10cm / 2020 *部分

井上愛仁 展 | Fractal Glow

会期：2020年11月12日（木）～11月22日（日）*11月17日（火）休み

時間：12:00-19:00 *最終日18:00迄

作家在廊予定日：11月12日（木）終日、13日（金）12:00-14:00

H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Gallery は井上愛仁（なるひと）の個展 "Fractal Glow" を開催致します。

1979年に横浜に生まれた井上は、20才の時に世界を一人旅したことをきっかけに、ガラスの持つ「光」の魅力に心奪われ、ガラス制作の道に進むことを決意。帰国後、富山ガラス造形研究所にて、ガラス制作の技法、造形等の基本を学び、研究所修了後には現代日本を代表するガラス作家のスタジオにてアシスタントとして更なる修練を積み、2012年に横浜にて「Naruhito Glass」を設立してガラス作家として本格的に活動を始める。

2015年、大分県竹田市久住高原に移住し、工房も移設し新たに「吹きガラス工房 Magma Glass Studio」を設立。伝統産業、工芸として、特に竹を用いることに力を入れている大分県という環境に移住したことが一つの契機となり、井上の創作活動に化学変化を起こす再起点となる。横浜という言わば都会から、豊かな自然に囲まれた大分・竹田の環境に家族と共に身を据え、そこでの新たな人と素材の出会いにより、井上は竹を組み合わせた型を用いた独自の制作技法を生み出すことになる。その独自技法によって、かねてから制作していた用としてのガラス作品への応用のみならず、新たな作品領域の制作へ挑戦する意欲をかき立てられることとなり、それが本展へ出品する作品に続くこととなる。

本展のサブタイトルである“Fractal Glow”には、有機的で複雑、かつ繰り返しの形状に秘められたシンプルな法則と、「光」についての井上の作品への想いが込められている。

“Glow”を改めて辞書で調べてみると、（ランプ、ホテル、火などの発光体が自ら）光を放つ、またたく、という意味に加えて、（人間の表情が）光輝く、生き生きする、熱くなる、といった、人に内在する心・感情の発露としての動きを表す意味もあるのである。まさに井上が二十歳の時に一人旅で感じたガラスを通しての「光」から、以来ガラス制作に込められた想い、そして現在・未来までを表す言葉であると言えるのである。

本展では、最新作約10点を展覧いたします。この機会に是非ご来廊ご高覧頂きますようご案内申し上げます。

略歴：

1979年 横浜生まれ

2004～2007年 富山ガラス造形研究所（造形科／研究科）

2007～2009年 高橋禎彦ガラススタジオ

2010～2010年 ニシナカガラススタジオ

2012年 Naruhito Glass 設立（横浜）

2014年 "ガラスの灯花器"（玉川高島屋／日本橋高島屋／東武池袋店）

2015年 吹きガラス工房 Magma Glass Studio 設立 *大分県竹田市久住高原に工房を移設し、制作拠点とする。

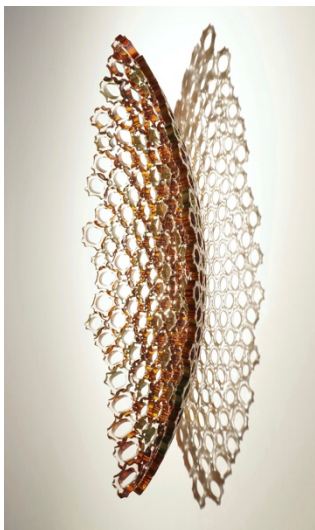
2016年 井上愛仁ガラス展（但馬屋老舗／大分）

2019年 KOGEI Art Fair Kanazawa 2019 (H-art Beat Gallery より出品) 他、個展・グループ展多数。

主な受賞：2005年 第二回現代ガラス大賞展 北日本新聞社賞

主な収蔵先：ジョエル・ロブジョン（東京）、ロイヤルパークホテル（東京）、プリンスパークタワー東京、富山市 他

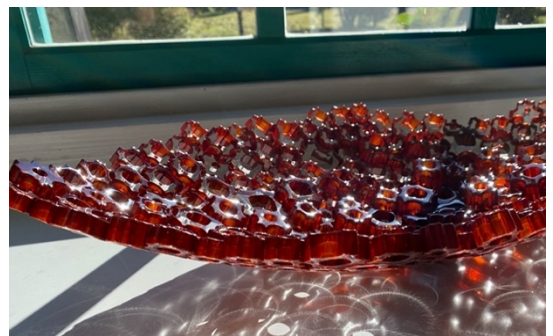
出品予定作品：



KAGUYA 晶（深飴葉）/ 吹きガラス、
溶着 / h53×w33×d10cm / 2020



Forest I / 吹きガラス、溶着 /
h33×w20×d16cm / 2020



KAGUYA 晶（萌炎葉）/ 吹きガラス、溶着 /
h54×w28×d11cm / 2020 *部分（壁掛け作品）

<新型コロナ感染拡大防止対策について>

- ・ギャラリー入口に設置しておりますアルコール除菌スプレーをご使用の上、マスクを着用されてのご観覧をお願い致します。
- ・ギャラリー空間の換気を随時行い、スタッフの手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用を徹底し、ご対応させていただきます。

皆さまには何かとご不便をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

尚、会期中でのご来廊が難しい方は、作家や作品についてのメールでのお問合せもお気軽にご相談下さい。

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F | 2-38-20 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

Tel. & Fax. : 81-3-6256-8986, 090-5310-4872 e-mail : masaru_nishiyama@hartbeat.co.jp URL: <http://hartbeat.co.jp>